

パーミクロンガードL

特長

1. 湿潤面での、付着が良好です。
2. 刷毛により1回塗りで500 μ の厚膜が得られます。
3. 無溶剤タイプですので、安全性に優れています。
4. 耐水・耐海水性に優れています。
5. 東京港埠頭（株）「棧橋劣化調査・補修マニュアル」表面塗装材の品質規格相当品です。

性状

	外 観	組 成	混合比 (重量比)	密 度 (23℃)	可使時間 (1 kg)	硬化時間 (500 μ 厚)	
主剤	ペースト状	エポキシ樹脂	1	1.50 \pm 0.10 [g/cm ³]	10℃ 60分	10℃	20時間
硬化剤	ペースト状	変性ポリアミン	1		23℃ 45分	23℃	16時間
					30℃ 20分	30℃	12時間

性能

※コンクリート破壊

試験項目	試験方法		結果
接着性	鋼板	建研式	乾燥面 1.5N/mm ² 以上
		サンドブラスト板	湿潤面 1.2N/mm ² 以上
	コンクリート	建研式	乾燥面 ※1.5N/mm ² 以上
			湿潤面 ※1.2N/mm ² 以上
引張せん断接着強度	JIS K 6850 軟鋼板		10N/mm ²
引張強度	JIS K 7161		10N/mm ²
伸び率	JIS K 7161		5%
硬度	JIS K 7215		HDD 75以上
耐衝撃性	JIS K 5600-5-3 デュポン式 1/2"-500g 50cm		50cm合格
塩水噴霧試験	1,000時間		異常なし
冷熱サイクル試験	(60℃ \times 6H-0℃ \times 6H) / 1サイクル 50サイクル		異常なし
3%食塩水浸漬	1年 (23℃)		異常なし
水道水浸漬	1年 (23℃)		異常なし

荷姿

5 kg/セット	主 剤	2.5kg
	硬化剤	2.5kg
色	ブルー、グレー、クロ	



標準施工仕様

●鉄鋼・コンクリート構造物仕様

工 程	商品名	色 相	標準使用量 (kg/m ²)	標準膜厚 (μ)	施工方法	施工間隔 (23℃)
下地処理	鉄鋼構造物	海藻類・貝類の付着が多い場合はスクレーパー等でかきおとして下さい。 素地調整程度1種（錆、旧塗膜を完全に除去し鋼材面を露出させる。）にて処理して下さい。 塗布前にはマジックロン等で戻り錆・海中微生物等を除去して下さい。				直ちに
	コンクリート構造物	下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイトンス、油類等は除去して下さい。 露出鉄筋部分は錆を落とし、防錆材などによる防錆処理を行います。 コンクリート欠損部に関しては、協議のうえ適切に処理を行って下さい。（注意4）				
第一層目	パーミクロンガードL	ブルー グレー クロ	1.00	500	刷毛 ローラー	16H～3日
第二層目	パーミクロンガードL	ブルー グレー クロ	1.00	500	刷毛 ローラー	

(注意1)クロは硬化中に水がかかった場合、グレー色に仕上がります。

(注意2)必ず各工程毎に、清掃を兼ねてマジックロン等で目粗しをした後、水拭きして下さい。

(注意3)耐候性、美観が必要な場合は、別途塗装が必要となりますので、ご相談下さい。

(注意4)コンクリート躯体に直接塗装する場合は、躯体と塗膜の間に空隙ができやすく、水蒸気が塗膜を持ち上げ膨れやピンホールが発生します。骨材既調合のパーミクロンガードSP（素地調整材）を使用する事により、巣穴へ入り込み膨れやピンホールを軽減する効果が得られ、防食工事の品質確保に貢献出来ます。